

土橋の宝 白馬 猪絵図を修復

土橋地区の月山神社に保管されている絵馬2点の修復が行われ、玉昌寺（熊谷宗英住職）で、8月12日から14日にかけて一般展示が行われました。



修復された絵馬、写真左から、猪奮戦図と繫馬図

区が地域ぐるみで取り組んだものです。

今回修復されたのは、1693年（元禄6年）に奉納された縦1.5m、横1.8mの力強い白馬を描いた大絵馬（繫馬図）と、1858年（安政5年）に中山町小塩出身の絵師、小松雲涯が描いた武士と猪の死闘図、縦1.2m、横1.5mの猪奮戦図の2点です。神社で長く保管してきたものの、黒ずんだり穴が空いたり、剥がれてきたりと劣化が進んでいました。

絵馬の修復については、10年ほど前から挙がるようになり、地区の予算から修復費を捻出して、元の表具店に依頼しました。

土橋総代の高橋千蔵さんは、「古来、月山神社は、近郷近在からの参詣者で賑わっていたことでしょう」と話してくださいました。

絵馬の歴史は古く、神仏に無病息災などを願い祀られたもので、初めは生きた馬を捧げていたそうですが、時が経つにつれ、造形馬

に変わり、その後絵馬になったと伝えられています。

14日には、絵馬のお話しを聞く会が開かれ、町郷土研究会長の横尾尚寿さん（柳町）の説明に参加者は熱心に耳を傾けていました。

3日間の展示には、約500人が訪れ、歴史的遺産を鑑賞しました。



玉昌寺にて、絵馬についてのお話しを聞く会の様子

第102話 降霜・降雹・地震 中山町歴史散策

降霜・降雹

この町で最も大きな降霜被害は、寛永元年（1624）7月（現代暦の8月）に降霜があつて、夏の畑作、稲作に大きな痛手となりました。また、文化12年10月の降霜は煙草、荏、そばが大痛みとなり、この前後の文化年間には、早霜、晩霜の被害が相次いでいます。

一方、降雹は、梅雨あけのころ、晴天が続く中で上空に寒気が入り、積乱雲が発達、上昇気流と過冷却状態の下で水滴が氷粒に成長して落下する現象ですが、最上川沿いの宮宿・伏熊・三郷・金沢・岡・文新田などの地区は古くから降雹の被害常習地でした。

地震

中山町を含む村山平野西部は、湖沼痕が隆起し干涸びたところで、この町の中心部である長崎、達磨寺一帯は殊のほか地盤が軟らかいものとなっております。

この町に係る地震としては、慶長16年（1611）

9月の陸羽大地震、寛永元年（1624）11月の刈田岳鳴動による地震、寛永5年（1628）の庄内大地震、元禄7年（1694）6月の出羽大地震、宝永2年（1705）12月の村山郡を震源とする地震がありました。寛政5年（1793）1月の長崎大地震では7、8軒の民家が倒壊し、寺の仏具や灯籠が倒れる被害がありました。

いずれにしても大きな被害ではないのですが、詳しい記録もないのですが、天保4年（1833）10月、村山一円を大揺れにした地震の折には、2、3の記録が残されており、昼八つ過ぎ（午後2時頃）突如として地震があり、柳町岸角兵衛家の文書では17戸が倒壊したとあり、「長崎村などは50余戸の倒壊」と記録されているものもあります。（「西川町史」資料三）

※参考 中山町史 中巻
第9章第3節 火災と防災対策

第46回全国中学校ソフトテニス大会 中山中 渡邊・本間。ペア堂々3位

8月25日（火）に、全国中学校ソフトテニス大会男子個人で全国3位の快挙を成し遂げた、中山中学校3年の渡邊光樹さん（土橋）、本間海斗さん（中原団地）が役場を訪れ、佐藤町長に大会結果報告を行いました。

スポーツ少年団からペアを組む2人は8年間各種大会に参加し、実力を伸ばしてきました。今大会にかけた思いは強く、開催地が本県の天童・東村山地区ということもあり、1回戦から3回戦までは順調に勝ち進み、続く準々決勝で第1シードの埼玉・芝中と対戦し、攻めのプレーで勝利しました。準決勝では優勝候補の福



写真手前左から、渡邊光樹さん、本間海斗さん、写真後方左から嶋倉直彦校長、佐藤町長、久保田尚矢監督

島・西郷一中と対戦、惜しくも敗れましたが、堂々の全国3位に輝きました。

2人は「100%の力を発揮できた。地元の応援に支えられ、恩返しできた」と全中大会を振り返りました。

プレーに関して渡邊さんは、「常にポジティブな考えを持つこと、後ろ向きなことは考えない」、本間さんは、「本音を隠さず素直な考えを相手に伝えることが大切」とメンタル面に関して、常に意識していることを話してくれました。

佐藤町長は、「8年間ダブルスを組むことは容易なことではない。スポーツでこれだけの実績を勝ち取ることは大変素晴らしいこと。スポーツを続けることで学問はもちろん、今後の人生にも必ず役に立つ、これから進学しても続けてほしい。硬式に切り替えて東京オリンピックに町内から選ばれる選手になって、活躍してほしい」と渡邊さん、本間さんに労いと励ましの言葉を贈りました。

今後の大会は、JOC全日本ジュニア選手権大会が9月19日・20日に広島県で開催、10月には天皇杯が予定されており、渡邊・本間ペアの活躍がますます期待されます。

自社職人による、完全自社施工の職人専門店
外壁・屋根・すべて手塗り

有限会社 **飛塚塗装店**
飛塚塗装店 検索
東村山郡山辺町大字山辺 2718-1

屋根塗替え参考価格	外壁塗装参考価格
㎡ 300円から	㎡ 900円から

023-664-5468 見積無料